

「三島硫黄島学園の九月踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	三島村立三島硫黄島学園
2. 学年・人数	後期課程 7～9年 女子7名
3. 日時・場所	練習 令和6年10月5日～11日 18:00～19:00 三島開発総合センター 発表 令和6年10月12・13日 17:00～19:00 熊野神社前広場
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 硫黄島九月踊り（いおうじまくがつおどり） (2) 由来 10月（旧暦9月10日、11日）に行われ、島の女性だけが踊る。流行していた疫癘や疱瘡（伝染病）を納めるために始めたとされている。俊寛が教えたとの説もある。 (3) 構成等 花の大阪、祭文弊（せいもんべい）、思い立ち、疱瘡踊りの4つの踊りがある。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	島内出身の婦人会が担ってきた硫黄島九月踊りであるが、しおかぜ留学生にも踊りの機会を与えている。中学生とはいえ、踊りの精度を上げるためには体力を消耗する。1週間ほどの練習の最中には、婦人会の方々だけでなく、保存会の皆さんの指導と声かけに励まされ、力強さを増していき、立派な「島の婦人」へと成長する。伝統的な衣装の着付け・髪結いは島の婦人会の方がしてくださった。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	祭文弊 花の大阪
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【9年生児童生徒】 私がしおかぜ留学生として硫黄島に来て1年半が経ち、島の行事の一つである「九月踊り」に参加することとなった。練習が始まるまではとても不安だったのだが、島の方々が細かくアドバイスをくださりとても嬉しかった。様々な方に助けられながら行事をやりきったことで、島の一員としての自覚が芽生えた一週間だった。 【保護者から】 ここでしかできない体験ができ、娘にとって素晴らしい体験となった。着物姿の娘を見ることができ、とても嬉しかった。